キャストストーン製バスタブ

開放排水方法 参考図

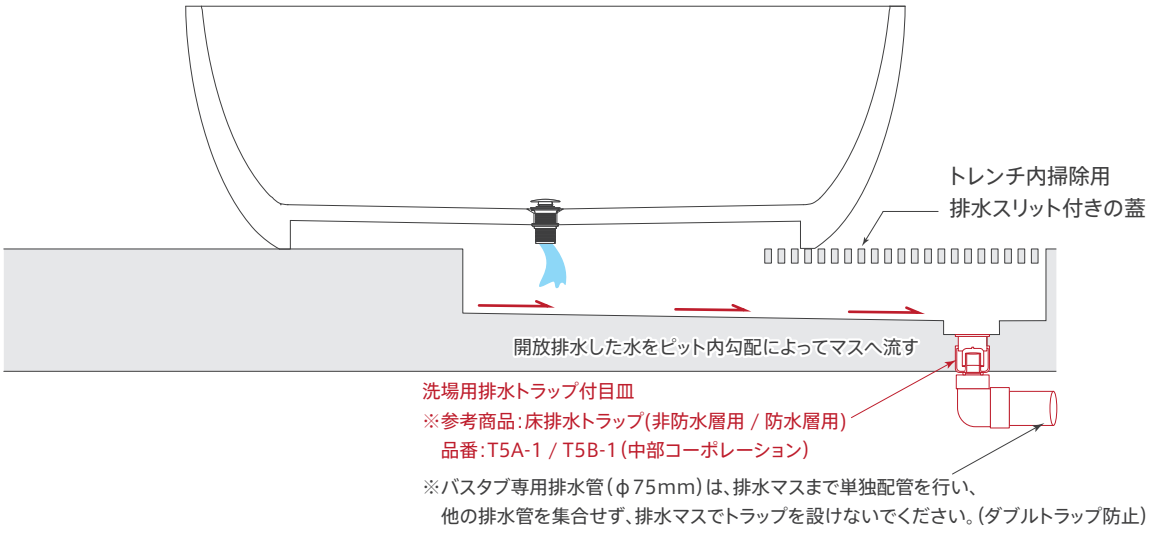
⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

開放（トレンチ溝）排水 据付工事

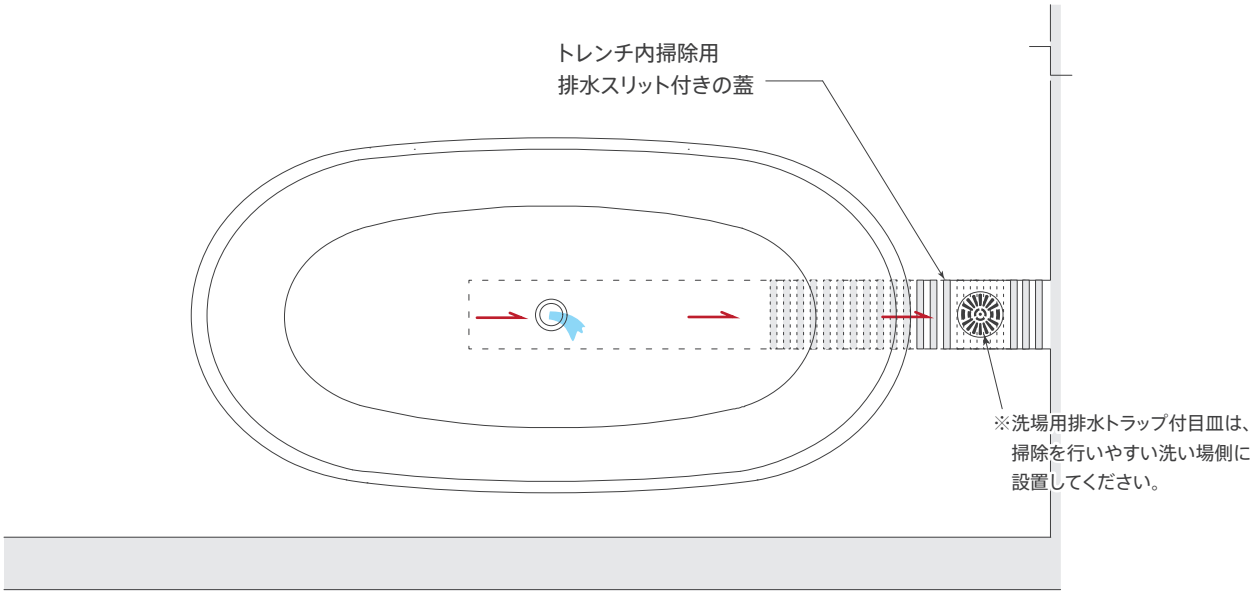
排水金具から直接排水させ、ピット内の勾配によってマスへ流す排水方法。トレンチ溝設けることで、中の掃除も行えます。
大量の水を円滑に排水するためには、十分な排水能力を持った洗場用排水トラップ付目皿（下記参考商品）と排水管（φ75mm）が必要となります。同サイズ・同仕様であれば、他社製品でも問題ございません。

※排水目皿の径が小さい場合、髪など詰まりやすく、排水効率が悪くなりやすいため、隣室（2F以上の場合下階に及ぶ）まで水が溢れる恐れがあります。排水目皿及び排水管の選定にはご注意ください。

1F、2F以上共通（ウェットの場合のみ）断面図



1F、2F以上共通（ウェットの場合のみ）上面図



：トレンチ溝による開放排水

置型バスタブ

直結排水方法 参考図

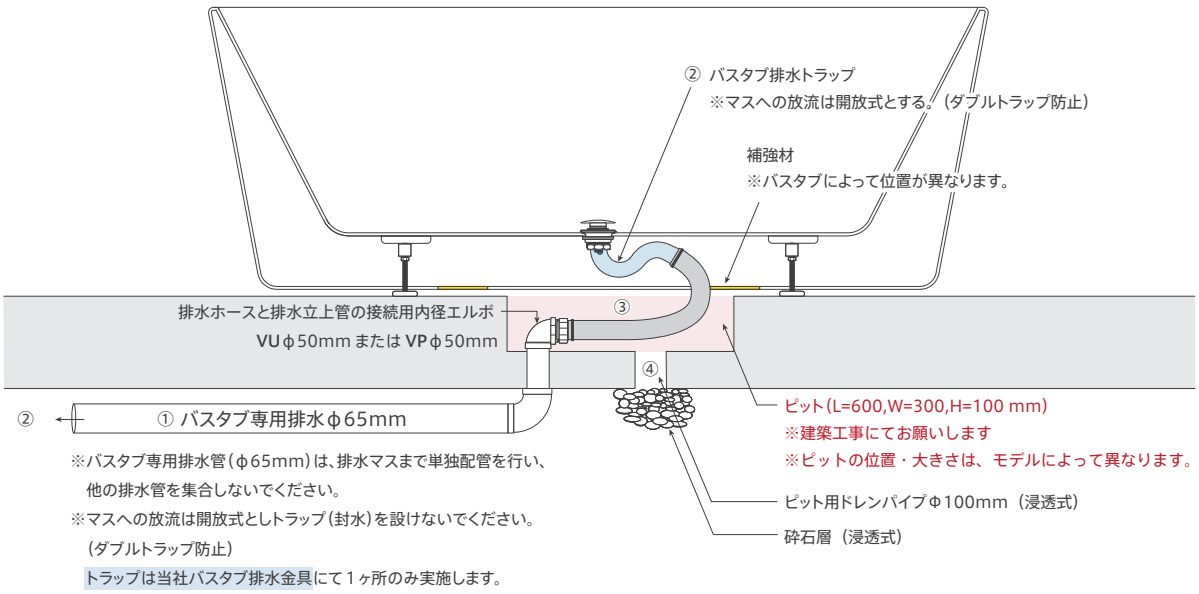
⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

直結排水方法

① 直結排水では、バスタブ専用排水管（φ65mm）を排水マスまで単独で配管するため、他の排水管を集合しないでください。
② トラップはバスタブ排水金具で取っているため、マスへの放流を開放式として、トラップを設けないでください。（ダブルトラップ防止）
③ 直結排水では、排水の流れをスムーズにするため、ピットを設けてください。（下図参照）

1F 用（ドライまたはウェット共通）

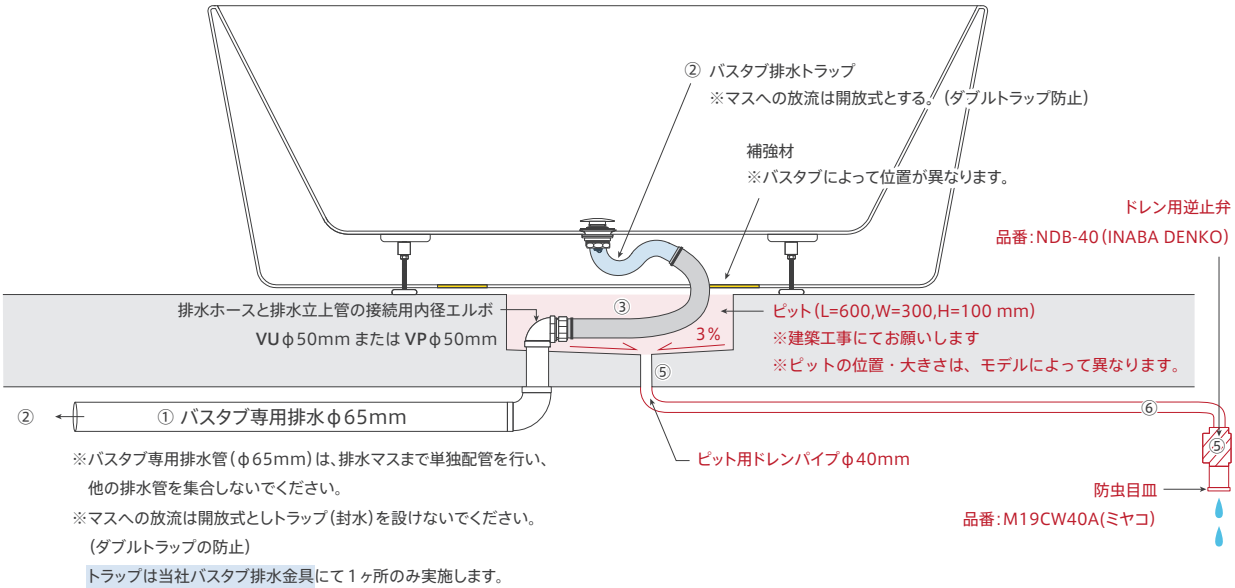
④ バスタブ専用排水とは別途でピット用ドレンパイプ（φ100mm）を設けてください。



※バスタブ専用排水管（φ65mm）は、排水マスまで単独配管を行い、他の排水管を集合しないでください。
※マスへの放流は開放式としトラップ（封水）を設けないでください。（ダブルトラップ防止）
トラップは当社バスタブ排水金具にて１ヶ所のみ実施します。

2F 以上用（ドライまたはウェット共通） ※①～④は同様

⑤ ピット用ドレン（φ40mm）を設け、末端開放部には、ドレン用逆止弁を取付けください。
⑥ ピット用ドレンパイプは、臭気がバスルームへ逆流することを防ぐため、雨水マス及び汚水マスへの接続をしないでください。



※バスタブ専用排水管（φ65mm）は、排水マスまで単独配管を行い、他の排水管を集合しないでください。
※マスへの放流は開放式としトラップ（封水）を設けないでください。（ダブルトラップの防止）
トラップは当社バスタブ排水金具にて１ヶ所のみ実施します。

キャストストーン製バスタブ

直結排水方法 注意事項

⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

該当品番：

C02-154

キャストストーン製バスタブの直結排水方法における注意事項

上記品番のキャストストーン製バスタブで直結排水方法を採用する場合、排水トラップ取付及び排水ホース接続の**ピット空間がバスタブの構造上十分に確保できない**可能性があります。直結排水方法を採用する場合は、必ず下記を確認してご検討ください。

キャストストーン製バスタブの直結排水方法

通常の直結排水方法について　**※詳細は、別資料の【(置型) 直結排水方法 参考図】をご確認ください。**

①直結排水は、バスタブ専用排水管（φ65mm）を排水マスまで単独で配管。他の排水管を集合しないでください。

②トラップはバスタブ排水金具で取っているため、マスへの放流を開放式として、トラップを設けないでください。(ダブルトラップ防止)

③バスタブ専用排水とは別途で、ピット用ドレンパイプ（φ100mm）を設けてください。

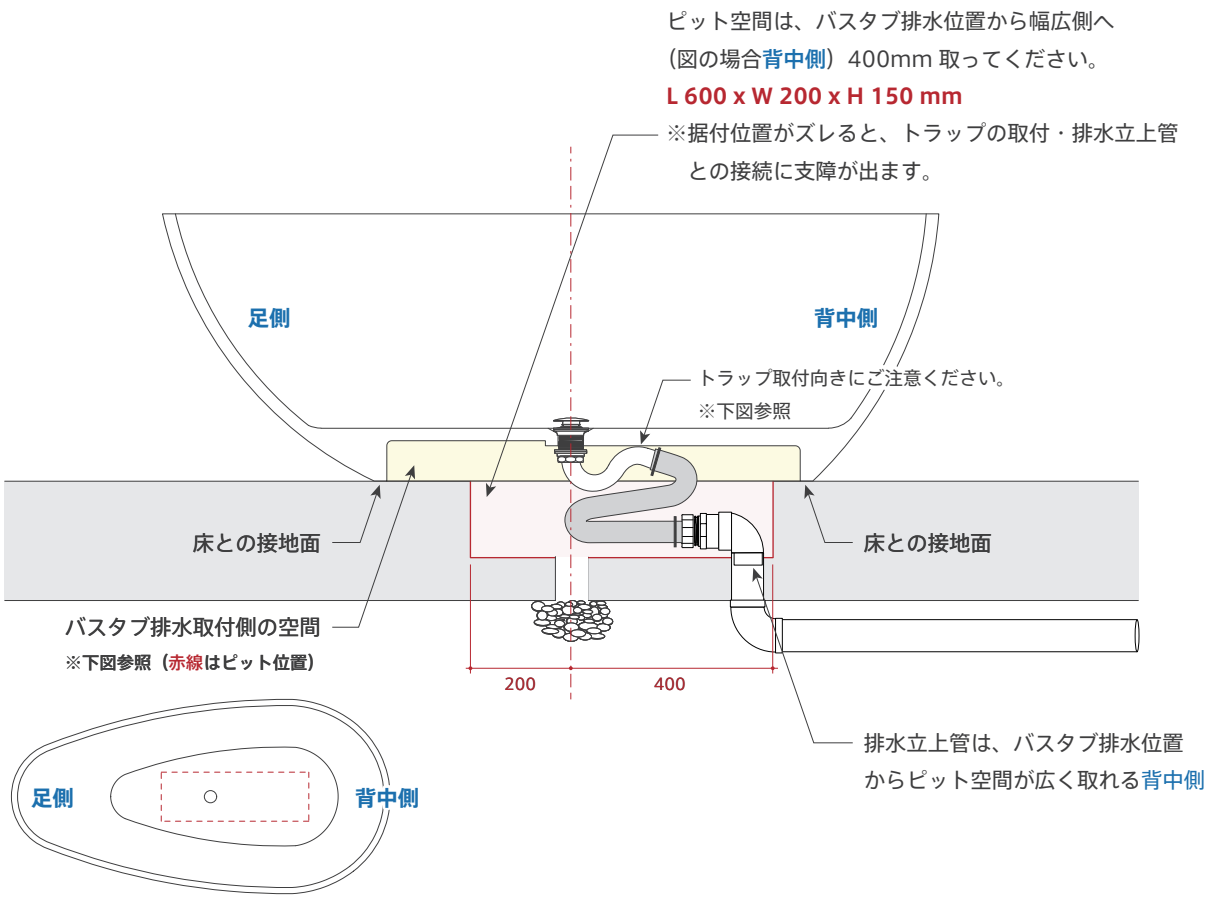
④直結排水は、トラップの取付と排水の流れをスムーズにするため、ピットを設けて排水勾配を確保してください。

キャストストーン製バスタブにおける直結排水方法の注意点

トラップから排水立上管への接続が、バスタブ設置位置とピットの位置によって厳しい場合があります。

バスタブの足となる床面との掛かりが狭いバスタブの場合、ピット空間も狭くなり施工難度が高くなるため、予めご注意ください。

排水管立上位置、ピットとバスタブの位置が施工上厳しい場合は、開放（トレンチ溝）排水方法をご検討ください。(別資料参照)

C02-154 の直結排水 参考図

※品番によってピットの寸法、位置は異なります。